



発行責任者
堤 敏博

【校長室より】

「多様性」

校長 堤 敏博

令和2年がスタートしました。今年も、教職員一同、五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。ところで、2学期の終業式で全校生徒に、多様性について話をしました。ここで、その内容の一部を転載します。お子様との話題にしていただければ幸いです。

「働きアリの法則」というのを聞いたことがありますか。働きアリというぐらいだから、みんなせっせと働いていると思ったらそうでもないらしいです。例えば、100匹働きアリがいたとしたら、20匹は積極的に働き、60匹は普通に働き、残りの20匹は全く働かないそうです。そこで、働かない20匹を排除しても、80匹の2割である16匹が、全く働かなくなるそうです。研究によると、働かないアリは代替要員で、働くアリが疲れて働くことができなくなったとき、代わりに働いてくれるそうです。一生懸命働いているアリが、働かないアリに対して文句を言うでもなく、ある意味、バランスが取れているのかもしれない。仮に、全部が一生懸命働くアリばかりだと、短期間でその集団は滅びてしまうそうです。

アリの集団と同じで、人間の組織においても、多様な価値基準をもち、多様な人々が、お互いを認め合うことが重要だと思います。いろいろな考えを持っている人がいて、それぞれを認め合い高め合うことを「多様性」といいます。ここで、次の言葉を紹介したいと思います。

「私は、地元の高校に片道1時間の距離をバスで通学しています。城跡に建てられた高校はお堀に囲まれ、海に近いということもあり、梅雨の時期には手のひらサイズの大きなものから小指の爪ほどの小さなものまで、カニが廊下や教室を我が物顔で歩いています。生徒同士が立ち話をしている後ろを、先生が生徒を指導しているその真ん中を、授業中の机と机の間を。だからといって驚いたり追い払ったりする人もおらず、むしろ、カニはにやっと和ませてくれます。カニの存在は私たちの学校生活の一部となっています。」

これは、11月8日に実施された長崎県高校弁論大会において、特別賞を受賞した本校1年生の関田結さんの弁論の一部です。関田さんの弁論は次のように続きます。

「私たちが生きている現実世界は多様性であふれています。常に変化を続ける多様で複雑なつながりこそが現実世界の本質と言えるかもしれません。煩わしいから、面倒くさいからという理由でこの現実を切り捨てるのではなく、現代の効率的な空間に生きつつも、多様で異質なものを自分の中に抱え込む度量の大きさが重要なのだと考えます。ちょうど効率的な教室という空間に、多様なカニが歩き回ることを自然であると感じられるように。」

なにげない日常生活をいろいろな角度から見ることで、現代に必要な多様性を見出している。素晴らしいと思います。

多様性については、最近いろいろなところで耳にします。例えば昨年の新語・流行語大賞にワールドカップ日本代表の合言葉「ワンチーム」が選ばれた理由の一つに、「7カ国15人も海外出身選手を含む31人の選手が、お互いの文化や考え方を受け入れ高め合う多様性の中で作り上げた文化が評価された」とありました。ここでも、多様性が評価されているのです。

この激動の社会を担っていく君たちに必要なのは、「主体性」「多様性」「協働性」であり、これらを支えているのが「知識・技能」と言われています。そして、その「知識・技能」を高める方法の大部分は毎日の授業が占めているのです。毎日の授業に積極的に参加すること、家庭学習時間を確保することが大事であることを心に留めて、今後も学校生活を送っていきましょう。

センター試験出陣式 (1月17日)

3学年主任 渡辺洋平

センター試験前日の1月17日(金)に、センター試験出陣式が本校の軽スポーツ場で行われました。この日のために1・2年生や先生方が折り鶴やメッセージを準備して下さったことを、3学年一同、感謝しています。

出陣式では、校長先生から貴重なアドバイスをいただくことができました。また、生徒代表として決意表明をしてくれた3年4組の森心太君は、3年生の緊張を和らげながらも、周囲の人に感謝しながらがんばろうと勇気づけてくれました。

センター試験当日は、受験生全員がベストを尽くして戦うことができました。これまで支えて下さった方々、本当にありがとうございました。これからも最後まで頑張ります。よろしくお願いたします。

国公立大学個別試験に向けて

進路主任 林田智宏

センター試験も終わり、特別編成授業が始まりました。2月25日(、26日)の国公立大学個別学力試験の前期日程、3月8日の中期日程、3月12日の後期日程、または私立大学の試験等に向けてそれぞれに頑張っているものと思います。試験場で立ち向かうのは一人ひとりの力ですが、そこにたどり着くのは五島高校に集う全員の力です。すでに進路先が決まっている人も、全く違う進路を歩もうとする人も、互いに高めあって、本番の試験では自信を持って臨めるようにしましょう。最後の最後までやりきる力…それこそが五高生の強みです。



「向き合う」

頑張れ、五高生!

交通講話

生徒指導部



1月14日(火)に、五島警察署の中野晴夫様をお招きして、交通講話を行いました。講話では、自転車を運転する上で気を付けなければならないルールや、危険な自転車の走行が招く、予想外の危険性について学びました。生徒の中には、自転車通学生も多くいます。スタントマンの実際の事故を再現した映像や、反射板を用いた実験などから、生徒達は、便利さと同時に自分たちの普段の生活に潜む危険性について深く考えることができたようです。この講話で学んだことを活かし、被害者にも加害者にもならないよう、これからの学校生活を送ってほしいものです。

県民表彰

令和元年11月23日(土)長崎県庁県議会議場にて県民表彰式が行われました。今回は五島高校の探究学習(パラモンブラン)の取組の表彰でした。特に環境に関する取組が注目され推薦をしていただきました。五島高校生の取組が1つ認められる良い機会になりました。



部活動報告

〈百人一首かるた部〉 下五島地区百人一首大会

祝 大会15連覇 達成

1月10日（金）本校セミナーハウスにて第41回下五島地区高等学校百人一首大会が開催されました。本大会は、下五島地区の高校4校の代表生徒が百人一首を通して親睦を図る伝統行事です。本校からは百人一首かるた部の生徒6名が出場しました。

試合が始まると選手達は集中し、狙った札を我先にと取る姿が各コートで見られました。試合終了後は、各校自己紹介をした後、グループに分かれて他校の生徒とお菓子を食べながら交流を深めていました。

結果は、五島高校が3勝で優勝し、大会15連覇を果たしました。来年度もよい成績が残せるよう練習に励みたいと思います。応援よろしくお願ひいたします。



〈百人一首かるた部〉

全九州総合文化祭宮崎大会

小倉百人一首かるた部門に参加して

私たち百人一首かるた部は12月13日（金）から宮崎県で開催された全九州総合文化祭宮崎大会に参加してきました。初日の総合開会式では宮崎県の高校生のパフォーマンスを鑑賞し、文化の素晴らしさを再認識しました。2日目はKIRISHIMAツワブキ体育館で試合が行われました。各県の強豪チームとの試合ということもあり、緊張しましたが、最後の一枚まで粘り強く札を払うことができました。残念ながら予選リーグ通過とはなりませんでしたが、この経験を今後の大会でも生かしていきたいと思ひます。五島からの声援、ありがとうございました。

〈結果〉【予選Cパート】

- 1回戦 長崎VS宮崎B 1-4
- 2回戦 長崎VS福岡A 0-5
- 3回戦 長崎VS熊本A 2-3

→ 予選リーグ敗退



〈吹奏楽部〉 五島吹奏楽祭 開催

12月22日（日）に福江文化会館にて五島吹奏楽祭を開催しました。今年40回目を迎えたこの演奏会は、五島市の小中高8校が集い吹奏楽の演奏をします。学校によっては吹奏楽部員7人の少人数のバンドもありますが、どの団体も力強い演奏をしてくださいました。生徒数減の影響もあり年々吹奏楽愛好者の人口も減っていますが、今後増えることを期待してこの演奏会を続けていきたいと思ひます。

現在、五島高校吹奏楽部は部員17名で活動しています。年間を通して、多くの地域行事等で演奏させていただいています。私たちにしかできない演奏で、音楽の素晴らしさをお届けできたらと思ひます。

また、3月8日（日）福江文化会館にて第33回定期演奏会を開催いたします。みなさんのご来場お待ちしております！

